

プレスリリース

国土強靭化
NATIONAL RESILIENCE

令和8年1月 22 日

令和7年度 防災・減災、国土強靭化ワークショップの開催について ～第3、4回参加者募集開始～

内閣官房国土強靭化推進室では、平成28年度から、防災・減災、国土強靭化に関する自主的な活動を創造する、またはすでに活動しているコミュニティとのコラボレーションや触発を促す対話型ワークショップを実施しています。

本年度は、会場参加とオンライン視聴を基本に全4回の国土強靭化ワークショップを開催する予定です。第3回及び第4回は、下記のとおり実施します。

○国土強靭化に向けた防災・減災ワークショップ(第3回)

テマ:地域の力で乗りこえる – 離れていても、ともにつながる防災 –

日時:令和8年2月 11 日(水・祝)14:30～17:00(開場 14:00)

会場:紀宝町生涯学習センター『まなびの郷』

定員:現地参加 80 名、Zoomによる話題提供のオンライン視聴(定員制限無)

※応募用HPから申し込み

募集締切:令和8年2月9日(月)まで

主催:内閣官房国土強靭化推進室

○国土強靭化に向けた防災・減災ワークショップ(第4回)

テマ:子育て世代の防災 – 日常生活の延長としての防災 –

日時:令和8年2月 21 日(土)13:30～16:00(開場 13:00)

会場:AP 東京丸の内

定員:現地参加 30 名、Zoomによる話題提供のオンライン視聴(定員制限無)

※応募用HPから申し込み

募集締切:令和8年2月 18 日(水)まで

主催:内閣官房国土強靭化推進室

※詳細は、別紙のとおり

本件問い合わせ先:
内閣官房国土強靭化推進室 岡本
TEL03-5253-2111(内線 33753)

国土強靭化に向けた 防災・減災ワークショップ in 紀宝町

地域の力で乗りこえる -離れていても、ともにつながる防災-



こんな方におすすめ

- ・他地域の災害支援の経験を、自分の地域の防災に活かしたい方
- ・自治体や支援団体、ボランティアとの協働に関心がある方
- ・「もしもの時」に備えて、地域でできることを考えたい方

参加
無料

離れていても、つながる力が防災を強くします。能登半島地震では「どんな支援が必要か」「どう受け取るか」といった半島での備えが課題となりました。

『もし今ここが被災したら?』を出発点に、地域でできる備えを見直します。支援を受ける力、共助の力を高めるために、話し合いながら具体的な行動を見つけていきましょう。

講 師

松本 健一氏

認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン



建築・都市計画を学び、建設コンサルタントとして31年間、地域に寄り添いインフラのソフト分野に携わる。この間、釜石市でのまちづくりや震災復興を通じ、住民・行政・関係者が顔の見える関係を築く重要性を実感し、対話の場づくりを続けてきた。

現在は「災害時の食の支援」に取り組み、能登半島地震でも炊き出しなどを継続支援。平時のつながりが非常時の支えとなる仕組みを探求している。

日 時

2026年2月11日(水・祝日)

14:30～17:00 (開場 14:00)



会場参加

紀宝町生涯学習センター『まなびの郷』

(〒519-5701 三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿 1147 番地 2)

▼お申込は
こちら



オンライン 参加

第1部のみオンライン (Zoom) での配信あり

国土強靭化に向けた防災・減災ワークショップ in 紀宝町 地域の力で乗りこえる - 離れていても、ともにつながる防災 -

当日の内容

第1部 話題提供「支援の現場から見えた課題と備え」

講師：松本 健一 氏（認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン）

※講義タイトルは変更となる場合があります

能登半島地震で実際に支援を行った団体より直接、「どこで、何を、どう支援したのか」「現場で困ったこと、備えておくべきだと感じたこと」そんなリアルな声を事例とともに紹介します。支援する側・受ける側、両方の視点から、地域の防災力をどう高めるかを一緒に考えるヒントをお届けします。

第2部 ワークショップ

テーマは『もし今、ここが被災したら？』。災害時に必要な支援や、地域で備えるべきことを話し合います。話題提供者（講師）や有識者からのアドバイスもあります。

【テーマ例】

- ・必要な支援は何か？どう受け取る？どう伝える？
- ・支援が届かないとき、自分たちで守るにはどうする？
- ・地域に必要な「受援力」や「共助の力」をどう高める？



当日の有識者



池上 三喜子 氏

公益財団法人市民防災研究所 理事
NPO法人東京YWCA 福祉会 理事

申込方法

WEBでお申し込み

https://questant.jp/q/kiho_bosai260211

応募締切

2026年2月9日（月）まで



国土強靭化に向けた 防災・減災ワークショップ in 東京

子育て世代の防災 - 日常生活の延長としての防災 -



こんな方におすすめ

- ・子育て中の方（特に未就学児～小学生の保護者）
- ・災害時に子どもを守るために備えを知りたい方
- ・保育園・幼稚園・小学校の先生やスタッフ

参加
無料

子どもと一緒にできる防災、考えたことありますか？

災害を経験した子育て世代のリアルな声や、子どもの生きる力を伸ばす工夫など、子育て世代ならではの視点で防災を見直します。

「日常生活の延長としての防災」をテーマに、家庭や地域でできることを一緒に考えてみませんか？

講 師

宮丸 みゆき氏



NPO 法人 M-plug

理事・アクティブ防災®事業副代表

NPO 法人 M-plug は、子育て世代が日常の中で無理なく防災に取り組める工夫を発信。『子連れ防災 BOOK』や遊び・絵本を使ったアイデアなど、家族の未来を守る取り組みを展開。

講師 宮丸みゆきさんは、防災士でアクティブ防災ファシリテーター第1号。3児の母の経験を活かし、保護者目線でわかりやすい防災を届けている。

日 時

2026年2月21日(土)

13:30～16:00 (開場 13:00)

お子様連れでも
大丈夫！当日は、
会場内に託児サービス
もございます。

会場参加
(定員 30名)

AP 東京丸の内 「大手町駅」 D6 出口直結
(東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3F)

▼お申込は
こちら

オンライン
参加

第1部のみオンライン (Zoom) での配信あり



【主 催】：内閣官房国土強靭化推進室

【事務局】：株式会社 NTT データ経営研究所 (E-mail : NRTeam@nttdata-strategy.com)

国土強靭化に向けた防災・減災ワークショップ in 東京 日常生活の延長としての防災 - 子育て世代の防災 -

当日の内容

第1部 話題提供「子育て世代の防災を考える」

講師：宮丸 みゆき 氏 (NPO 法人 M-plug 理事・アクティブ防災®事業副代表)

※講義タイトルは変更となる場合があります

子育て世代の防災をテーマに、身近な工夫やリアルな課題を紹介します。普段の生活の工夫でできる「家族で取り組む防災」から、持ち出し品や避難行動、情報のやり取りなど、子育て家庭ならではの困りごとまで。

さらに、災害時や避難所生活で直面する課題と、命や生活を守るためにできることをお話しします。

第2部 ワークショップ

日常の生活を振り返りながら、災害時に「どんなことに困りそうか」を参加者同士で共有します。そのうえで、家庭での備えや日頃の工夫について、それぞれの立場から考えます。最後は、今の生活の中にある「うちの備え」を見つめ直します。話題提供者（講師）や有識者からのコメントも予定しています。

【テーマ例】

- ・日常生活のふり返り
- ・災害時に困りそうなこと
- ・困らないようにするための備え



当日の有識者



池上 三喜子 氏

公益財団法人市民防災研究所 理事
NPO 法人東京 YWCA 福祉会 理事



宇野沢 達也 氏

ウェザーニューズ 気象予報士

申込方法

WEB でお申し込み

https://questant.jp/q/tokyo_bosai260221

応募締切

2026年2月18日（水）まで



【主 催】：内閣官房国土強靭化推進室

【事務局】：株式会社 NTT データ経営研究所 (E-mail : NRTeam@nttdata-strategy.com)